

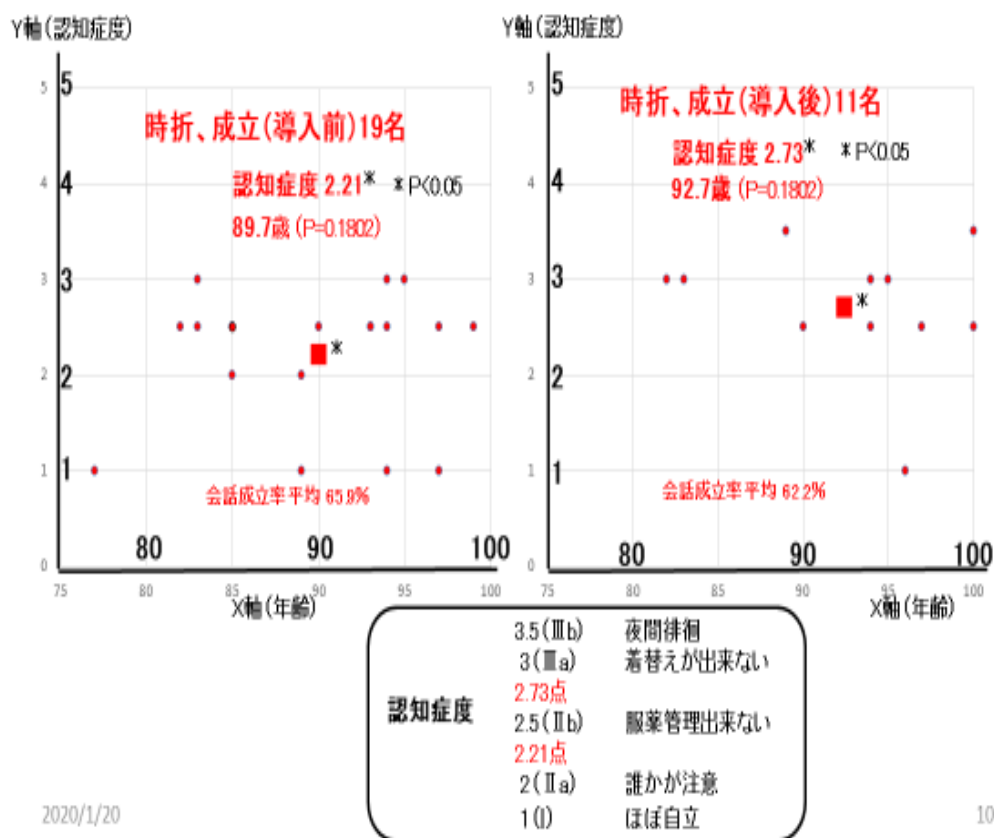
(第7報) 癒しの環境研究会、2017年(愛知県)

演題名: 会話補助システム(CASA)は毎回会話が成立する年齢を上げた

発表者: 浅田 章、石川 達人、木村 悦子、橋村 ゆう子、植村 素子、  
引土 真由香

所属: すこやか生野

## CASAは、 会話が時折成立するグループの 認知症度を0.52点、年齢を3歳、上げた



概略: 入所者 54 名に、CASA 導入の前後で、のべ 807 回の会話をを行った。CASA 導入前と導入後、いずれも、年齢が若くて、認知症度・要介護度が軽度である方が、会話が成立しやすかった。CASA は会話の成立回数を増やし、会話が成立する年齢を上げた。